

青森県八戸港と北海道函館港からイカ釣り漁船が出港
八戸港からムラサキイカ漁に向けて出港

八戸地区の中型イカ釣り漁船は5月10日に13隻、13日に4隻がムラサキイカ漁に向け出港した。10日に行われた出港セレモニーでは、景気付けに和太鼓の演奏が行われ、組合員の家族や関係者が集まり、記念撮影が行われるなどにぎやかな雰囲気包まれた。

各船は正午を過ぎると汽笛や演歌を鳴らし五色のテープをなびかせながら出港し、見送りに来た家族は岸壁越しに「行ってらっしゃい」「気をつけて」などと声をかけ乗組員を見送った。近年、スルメイカ漁が不漁のため、ムラサキイカ漁に対する期待が大きくなっている。また、今年の中東情勢の不安から、燃料油不足が心配されるなかでの出港となった。

出港した中型イカ釣り漁船は、日付変更線付近まで約10日間航行し、2カ月間程度操業を行い、7月下旬から8月上旬に水揚げのため帰港する予定となっている。

※名称と分類=アカイカは一般的な呼称で、正式な標準和名はムラサキイカです。

「海員だより」